

# 施工前のチェックポイント

## ビニル系床材の施工を、より確実にスピーディにするために

床材の工法仕様

施工前のチェックポイント

### 1) 施工の手順

#### 事前の打ち合わせ

- 図面で数量を確認
- サンプル提示
- 割り付けロスの確認
- 貼り方の承認
- 施工計画の作成

#### 納材

- 保管場所と受取人の確認
- 納材日時、方法打ち合わせ
- 接着剤の集積は要注意

#### 作業の管理

- 関連工事との連携
- 材料の取り扱い
- 下地づくり
- 施工時の温湿度
- 工法の決定と実施
- 安全・防火対策
- あと片付け
- 仕上がり検査
- 仕上がり

### 2) 材料の取扱い

#### 保管場所

- 平坦な所がよい
- 保管温度5℃以下は避ける
- 雨ざらしは避ける
- 直射日光は避ける

#### 集積方法

- 長尺は倒れないように立てて並べる
- タイルは7段以上積まない
- 溶剤形接着剤の集積限度

#### 所要材料の確認

- 品質、色、数量、製造月日やロットの確認
- 接着剤の有効期限（通常6か月もしくは12か月）の確認

#### 材料の梱包ぐせとり

- 施工前に暖かい部屋に入れる
- 長尺は粗切りにして平らな所に重ねて置く
- タイルは平らな所に重ねて置く

### 3) 下地づくり

#### 事前の打ち合わせ

- 地下水位はどのくらいか
- じか土間の場合は防湿層が必要
- 下地材とその乾燥度
- 暖房床の場合の下地処理
- 貼り替えの場合

#### 早めの検査

- 施工の1~2週間前には始める
- 表面強度と不陸チェック
- 乾燥度とテスト方法
- 乾燥の促進
- 表面の汚れ除去
- 鉄板等の表面処理
- 下地材のたわみ補強

#### 不陸とざら目

- こてむら、凹凸、目違い、ケレンかけ、サンディング
- ざらめ、粉ふきの清掃と補修

#### ひびわれとたわみ

- ひびわれと浮きの補強と修理
- たわみの補強
- たわみと床材の選択

#### 乾燥度と工法

- 乾燥度と特殊工法
- 湿気の逃げ場
- 水のたまり部
- パネルヒーティング床のプレヒート

#### 貼り替え

- 古い床材をどうするか
- 古い接着剤等、下地の汚れ除去

### 4) 季節と施工時の温湿度

#### 一般的注意

- 室内温度は10~25℃が標準
- 使われる時の温湿度が望ましい
- 気温の変化による結露に注意
- 直射日光を避ける
- 通風や換気の度合い
- 季節にあった接着剤

#### 冬期

- 室温が10℃以下の場合は低温時工法
- 室温が5℃以下の場合は中止
- 施工前後12時間は5℃以上にする方がよい
- 下地の乾燥に時間がかかる
- 床材が硬くなり馴染みにくい

#### 梅雨期

- 高湿度になり、結露に注意
- 雨水の持込みが多い
- 接着剤のオープンタイムが長くなる
- 湿気や水は、接着剤の接着をはばむ
- 溶剤ガスのため換気、排気が必要

#### 春秋期・夏期

- 春秋期は気温の変化が激しい
- 気温に合った接着剤を使用
- 高温のため、接着剤の張付け可能時間が短くなる
- 直射日光に注意

### 5) 工法

#### 接着剤の選択

- 床材と下地の種類
- 一般工法用の接着剤は標準条件下で
- 室温が10℃以下の場合は低温時工法
- 工事の規模と接着剤
- 接着剤のオープンタイムと張付け可能時間
- 施工後の使われ方を考慮

#### 接着剤の塗布量

- 接着剤のタイプとくし目ごでの目たて
- くし目ごでの目たては正しく
- 二液混合接着剤の攪拌と反応温度
- 壁際のひかえは3mmまで
- 通風と換気で安全施工

#### 貼り付けと圧着

- 接着剤のオープンタイムをとる
- 接着工法は圧着が基本
- 45kgローラーで圧着する
- 床材貼り付け後、圧着可能時間内に行う
- 壁際の隅部はハンドローラーで
- 低温時は床材を加熱しながら
- ゴム棰や木槌によるタタキ

#### 仕上げ

- 継ぎ目からはみ出た接着剤の除去
- 目ちがい払い
- 事後の養生
- 工事完了後の汚れ防止

### 6) 施工中と施工後のその他の注意

#### 絶えず日光が当たる

- カーテン、ブラインド等で遮蔽する
- 床材が伸縮する
- 接着剤のオープンタイム、張付け可能時間が短くなる
- 換気をよくする

#### 結露

- 昼夜の温度変化
- 降雨、梅雨期
- 結露のおこりやすい地域
- 冷暖房器具まわり

#### 施工後長く放置される

- 2週間以上の放置と突き上げ
- 引き渡し前の汚れ防止
- 圧着は入念に
- 適当な換気と湿度調整

#### 清掃

- 引き渡し前の汚れ
- 水洗可能までの日数
- 引き渡し以後のメンテナンス
- ゴミは作業区分ごとに所定位置へ

#### 安全対策

- 溶剤形接着剤は火気に注意
- 重量物の持ち込みは慎重に
- 溶剤形接着剤の取り扱いには有機溶剤に注意